

H28年 5月18日(水) 14:30～

H28年度 笑寿苑 運営推進会議

出席者：入居者代表、地域代表（民生委員）、行政代表（雲南広域連合 介護保険課）
施設代表（施設長・介護支援専門員・看護主任・生活相談員）

欠席者：家族代表

1. 開会

- ・施設長挨拶～H28年4月より、特別養護老人ホーム設備及び運営に関する基準において、入所定員29名以下の場合、地域密着型特別養護老人ホームに該当するという基準があり、笑寿苑のユニット型は定員20名という事で、地域密着型特別養護老人ホームの施設となりました。その中で、運営推進会議を設置し、2ヶ月に1回以上、運営推進会議に対し活動状況を報告し、評価を受けると共に、運営推進会議から必要な要望、助言等を聴く機会をもうけなければならないという基準があります。今年度より、この基準に準じて運営推進会議を進めていく事で、入居者の方やご家族、地域の代表の方、行政の方からご意見、ご要望を伺い、さらなるサービスの質の向上に努めて参りたいと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。

2. 運営推進会議 委員紹介

- *入居者代表及びご家族代表は、状況（入居者の体調や、ご家族の都合など）により都度変更があります。
- *行政代表は、公務の事情により選任者2名どちらかの出席をお願いします。

4. 運営推進会議の設置要綱について

- ・別紙、設置要綱をもとに説明を行う。会議は委員10名で構成し、入居者及び入居者の家族、地域住民の代表、雲南広域連合の職員又は雲南市職員、施設長及び各部門の代表（任期は2年とし再任を妨げない）
- ・会議議題は、施設における利用者の状況やサービス提供の状況、サービス評価、サービスへの要望や助言など。
- ・会議の議事については、都度議事録を作成し、施設内において閲覧するようにする。

5. 活動状況報告

(1) 笑寿苑利用状況

- ・別紙、笑寿苑利用状況をもとに説明を行う。
- ・笑寿苑入居者の平均介護度は3.98（ユニットは4）、平均年齢は88.4歳

100歳以上の方は6名おられます。

- ・出身地別では、加茂町の方は33名（ユニットは8名）、大東町の方は27名（ユニットは6名）、木次町の方は3名（ユニットは2名）、三刀屋町の方は4名（ユニットは2名）、松江市の方は2名（ユニットは1名）となっております。

（2）過去2ヶ月間のサービスの提供状況及び活動実績

- ・ユニットにおける活動報告を行う。その中で、施設入居前に亡きご主人とトロッコ列車に乗ろうと約束していたが叶わぬ夢であった・・・しかし、ユニットへ入居されてから、その話を入居者ご本人からお聞きし、トロッコ列車に乗りに行く事を提案させて頂くと、ご本人も是非乗りたいという事で、職員と共にトロッコ列車に乗車する事となった。道中や乗車中での景色を楽しまれたり、途中で蕎麦屋さんに立ち寄られるなど楽しまれたご様子でした。そして、乗車後は、「今度は、トロッコ列車の最終駅まで乗ってみたい！」と新たな楽しみを持たれながら帰路につかれました。

また、別の入居者の方では、自宅におられる時から映画を観る事が好きであった。しかし、自分が病気をしてから映画を観に行く事を諦めていた・・・そこで、職員より映画を観に行く事を提案させて頂くと、ご本人も喜ばれ出掛ける事となった。映画を観に行った後も、ご本人から「何十年ぶりに映画館で映画を観る事が出来て本当に良かった」と話して下さいました。

その他にも、季節に応じた行事（巻き寿司作り、干し大根作りなど）を提供させて頂いております。巻き寿司作りでは、中学生さんが職場体験に来ていた事もあり、中学生さんと一緒に作り、一緒に食べる事が出来ました。入居者の方にとって孫世代という事もあり大変喜ばれていました。

（3）今後2ヶ月の活動予定。

- ・今後も、季節に応じた行事の提供や、入居者の方のご希望などを取り入れていきたい。また、今の時期頃から恒例となっている「ちょっこし外出」を提案提供していきたい。

（4）その他

- ・入居者代表より～

「こちらに入居させてもらってから色んな所に連れて行ってもらい大変感謝しております。家族でよく出掛けていた思い出の地にも連れて行ってもらう・・・ありがとうございます。」

・地域代表より～

「入居者の方の希望を取り入れており大変良いのではないかと思います。また、中学生さんとの交流もあり良いと思います。今後も是非継続して取り組んでいただければと思います。」

・行政代表より～

「入居者の方のそれぞれの想いに沿ったサービスが提供されていると感じました。今後も継続してサービス提供に努めて頂きたいと思います。」

(5) 次回開催予定

・平成28年 7月 29日(木) 14:30～

場所：笑寿苑 機能訓練室